

ベトナムにおける大学生の就職事情

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク (I-GLOCAL Pham Thi Thuy Linh)

はじめに

2016 年第 1 四半期の労働市場調査レポート（労働傷病兵社会福祉省発表）によると、大学・大学院卒業者の就職内定率は低迷しており、失業者全体の中でも最も大きな割合を占めている。電子版ニュース TuyenSinh247 は、新卒者の就職率低迷の理由の 1 つとして、就職先として人気のある銀行、会計・監査法人などの金融コンサルティング業界で必要とされる分野を勉強する商学部、経済学部の学生数が多いのに対し、当企業の求人は狭き門であり、供給が需要を上回っていることを指摘している。今回はベトナムの大学生の就職事情について分析する。

1. 新卒採用の状況

人材紹介会社の在ベトナム日系企業を対象とした調査によると、大卒初任給はホワイトカラーといわれる事務職、販売職などのオフィスワーカーと、エンジニア等の知的労働に従事する者は平均して月給 300USD 程度であり、その額は 2012 年以降ほとんど上昇していない。また、ブルーカラーといわれる工場で直接製造を担当する労働者は 200USD 程度であり、同様にほとんど上昇していない。業種別給与水準では製造業では繊維、電子精密機械が上位に、非製造業では金融、商社、サービス業が上位に位置している。また、電子版ニュース TuyenSinh247 によると今後 4 年間で IT、電子機器、観光サービス業の求人が増加すると予想されている。

2. 大学生のキャリア選択

大学生がキャリア選択をする際、給与を重視する学生は少なくない。金融・コンサルティング業界、IT 業界は給与水準が相対的に高いという理由から人気を集めており、大学受験の際に就職を見据えて大学や学部を選択することも多い。

また、キャリア選択は親の意思決定に大きく左右される。自らの子供の将来を案じ、良い職業に就けるようにしたいと思う親は、医師などの師業や技術者といった安定的な職業を子供に選択させる傾向がある。

3. 学生の課題

ベトナムでは国を挙げて経済発展の為に国際化を掲げ、国際的に活躍する人材の育成を目指している。そのために教育は不可欠であり、ベトナム政府は外国語教育改革のための「2008－2020年 国家教育システムにおける外国語教育・学習プロジェクト」の中で外国語教育を強く推進している。しかし、外国語専攻など専門としている学生を除いた多くの人は、外国語能力がそれほど高くはない。語学力以上に彼らの就職活動を難しくしている点として、チームワーク、時間管理、報告能力などのソフトスキルが不足していることも要因であるといえる。リクルートコンサルティング社によると、企業での面接の際に、学生が私服で参加する、敬語を使えない、選考応募書類は資格や履修コースのリストを簡単に列記するだけの内容となっており、志望動機も明確でないといった点を指摘している。採用企業は学生を受け入れた後、専門技能の教育に加えソフトスキルの分野の研修を必要と感じる

終わりに

経済成長著しいベトナムにおいても大学生の就職は決して容易なものではない。現在の労働市場の状況をよく理解したうえで、大学在学中に明確な将来のキャリアプランを考え、自らの強みや専門性を高めていくことで、就職活動で勝てる人材になることが、今後さらに求められていく。また、企業側としても、面接や応募書類で情報が得られにくい状況の中、いかに大学生の人間性、将来性を見極めるかが重要になると考察する。

参考文献

1. 16年 Q1 労働市場

<http://www.viet-jo.com/news/statistics/160529072955.html>

2. 次の4年間で就職しやすい職業

<http://tin.tuyensinh247.com/tong-hop-nhung-nganh-nghe-de-xin-viec-trong-4-nam-toi-c37a28282.html>